

1学年だより

夢の宅配便

1年学年主任
水野 喜代治

雪だるま

昨日、今日と冷え込みが強く、冬本番だなと感じます。昨日横浜では初雪がちらついたようです。子供のころは、雪が積もるとうれしくて、雪だるまを必ず作りました。小さな雪のボールを作って、一生懸命に転がすと回転するたびにボールは雪を巻き込んで大きくなっていきます。10メートルくらい転がすと、小さな雪のボールが両手で転がさなければ動かないくらい大きなボールになります。ボールが転がるたびに魔法をかけたように大きくなるのが楽しくて、手が冷たく痛くなるまで雪だるまを作りました。

昨日の1年生の集会を見て、私は子供の時の雪だるまづくりを思い出しました。集会では、総合学習の「小田原城ガイド」の振返りを総合系の生徒が行いました。アンケートをとって、その結果を丁寧に分析して発表していました。「小田原城ガイド」の行事を通して、「プレゼン力が身に付いたか」の質問では95%以上の生徒が付いたと答えていました。また、「満足したか」では、約30%の生徒が満足できなかったと答えていました。理由としては、「スムーズに説明できなかった」とか、「もっと内容を深めたかった」とか、「もっと大きな声で説明したかった」などの反省が出されていました。自分の取り組みを冷静に見つめて、反省できるところも素晴らしいと思いました。昨日の集会は、本当に充実した集会で中学生1年生の集会とは思えないしっかりしたものでした。行事をするたびに皆さんが大きく成長していくのを感じました。あの雪だるまのボールのように、一つの取り組みが終わるたびに成長していくのを実感とします。

昨日は、集会の後の昼休みの時間に体育委員会の「ドッチボール大会」も行われました。この大会も体育委員がしっかり計画運営をしていて素晴らしいと思いました。そしてその計画に学年全体で楽しもうとしている姿にとっても好感が持てました。

一般的な1年生の雪だるまより、皆さんははるかに大きな雪だるまに成長しています。これから、いよいよ皆さんの集団の力を学校全体、そして地域社会で発揮してほしいと思っています。

中学校3年間で降り積もる雪の量は無限だと思います。あとはその雪の上をどのくらい転がるかだと思います。みんなで、卒業まで限りなく大きな雪だるまを目指してください。3年後の君たちが作り上げる雪だるまを楽しみにしています。

